

カラマツカミキリ

コウチュウ目カミキリムシ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

Tetropium castaneum (Linnaeus)

国カテゴリー なし

選定理由

県内の記録は1例のみであり、国内分布の西限である。

形態

体長は8~13mm。トドマツカミキリに良く似るが、触角と脚は細く、上翅基部に白毛を密生する。体色は黒色。触角の長さは上翅中央に達する。

国内分布

本州（中部地方）。

県内分布

白山市（旧白峰村）。

生態

成虫は7~8月頃に出現し、ブナ帯上部のカラマツの衰弱木に集まる。幼虫はその衰弱部を食する。本県の採集個体は、採集場所の標高が低いためか、通常の発生時期より早い6月12日に記録された。採集個体は、新しいカラマツの伐採木上にいたものである。

生息地の条件

カラマツの自然林があることが重要である。

生存の危機

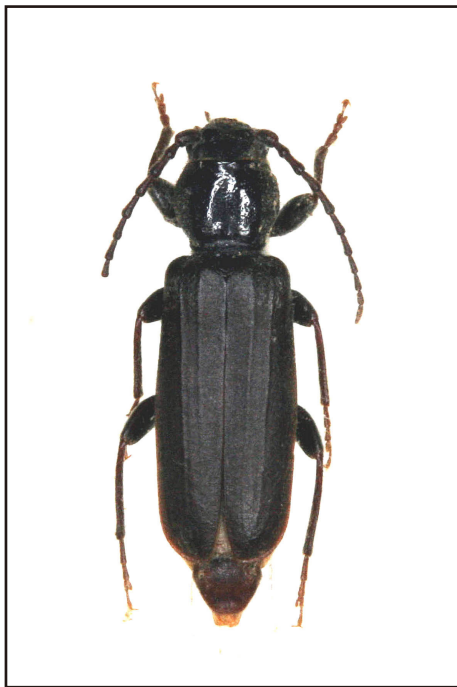
生態や分布が不明な点が多い。本県ではカラマツ自然林の分布が確認されていないうえ、確認個体が1例のみなので、今後はカラマツ林の探索と本種の生息調査が急務である。(A)

特記事項

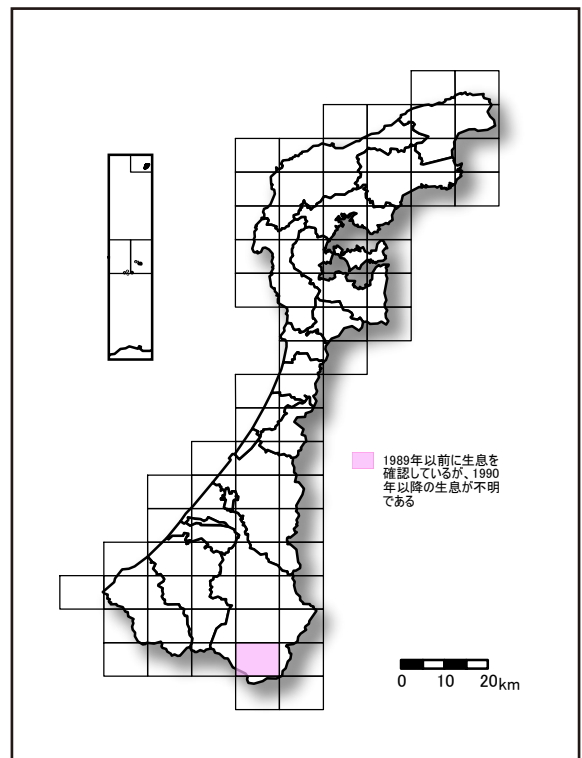
本種はトドマツカミキリと良く似ているので同定には注意を要する。

参考文献

井村正行 1998. コウチュウ目カミキリムシ科. 石川県の昆虫: 197-217. 石川県自然保護課.



標本提供者: 入場登



県内の分布